

## 乾乳期の適切な飼養管理



子牛や母牛のための  
飼養管理を！

乾乳期とは妊娠中の乳牛の搾乳を  
休む期間を言いますが、これは単なる  
牛の休養期間ではありません。

乾乳期の飼養管理がうまくいかな  
いと、疾病の発症、繁殖成績の悪化を  
招きます。特に分娩前後に発生する疾  
病は乾乳期の飼養管理と関係が強い  
です。これらの疾病を防ぐためにも、  
乾乳期の適切な飼養管理を行いまし  
よう。

## 乾乳期間中の管理ポイント

乾乳期は、乾乳前期（乾乳直後～分  
娩3週間前まで）と乾乳後期（分娩3

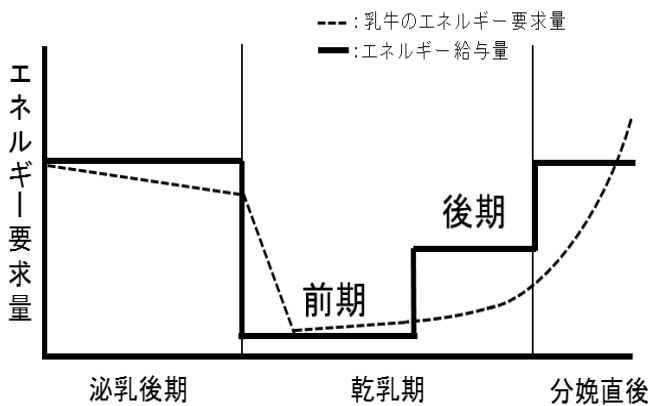


図1 乾乳期のエネルギー給与イメージ

（移行期を科学する出典）

週間前～分娩までの2つの期間に分  
けて飼養管理することが推奨されて  
います。  
前期は酷使された乳腺を休息・回  
復させるための期間で、ルーメン微  
生物に負担をかけないように、緩やか  
に飼料の濃度を落としていく期間で  
す。後期は分娩後の穀物給与に向け  
てルーメンを慣れさせる、胎子への  
栄養供給をするため、徐々に飼料の  
濃度を高くする期間です（図1）。  
また前期と後期を通して、乾乳期  
間中はなるべくBCSを変化させな  
い飼養管理が望ましいです。



濃厚飼料はルーメン絨毛組織の退縮を  
最小限にする目的で給与！

## ～前期 Point～

- ・過肥を防ぐため品質の良い粗飼料主体のエサを給与
- ・TDN充足率は90%～100%を確保
- ・DMIは体重の2%を目安に  
＊体重650kgなら13kg
- ・濃厚飼料は1～2kgを給与、給与する飼料の栄養分とBCSを見て調整
- ・Caは補給（タンカルで50～100g）

## ～後期 Point～

- ・DMIが低下していくので、嗜好性や品質の悪い飼料の給与は避ける
- ・TDN充足率は100%～110%、CP充足率は110%～120%が目標
- ・濃厚飼料は1日2kgから始め、1週間ごとに1kg増給（最大4～5kg）
- ・骨から乳腺へのCaの動員準備のため、Ca給与をやめる



胎子が大きくなって食欲が・・・  
おいしくないと食べたくないよ・・・

分娩後の飼料給与のためにルーメン微生物を  
慣らさないとルーメン発酵が急変しちゃう！